



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月4日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL <https://www.blind.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）池崎 久也
 問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部長（氏名）堀尾 剛毅 TEL 03(5484)6128
 半期報告書提出予定日 2026年8月4日 配当支払開始予定日 2026年9月7日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	22,095	6.4	2,544	21.5	2,682	22.6	1,775	2.3
2025年12月期中間期	20,771	3.0	2,094	△3.7	2,187	△4.3	1,734	12.7

（注）包括利益 2026年12月期中間期 2,334百万円（41.7％） 2025年12月期中間期 1,646百万円（△22.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	88.31	—
2025年12月期中間期	86.30	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期中間期	68,118	57,681	84.7
2025年12月期	67,735	56,353	83.2

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 57,681百万円 2025年12月期 56,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	20.00	—	50.00	70.00
2026年12月期	—	50.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	70.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	43,500	2.1	4,500	2.0	4,700	1.5	3,280	163.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	20,763,600株	2025年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	662,659株	2025年12月期	662,454株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	20,101,037株	2025年12月期中間期	20,101,571株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、景気は緩やかな回復基調となりましたが、物流や建設業界の人手不足の常態化や、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格をはじめとする物価高騰の懸念など先行きは不透明な状況が続いております。

また、当社グループ関連の建設・住宅業界は、建築費の高騰や省エネ基準の義務化など法規制の強化、住宅ローン金利の上昇に対する懸念から、住宅の新設着工戸数が戸建を中心に減少傾向となっております。

このような環境の下、当社グループは、2026年12月期から2028年12月期までの中期経営計画「タチカワビジョン2028～快適な暮らしの創造～」を策定しました。メーカーとして「ものづくりと市場づくり」、「成長に向けた投資」、「社会貢献」に注力しながら、企業価値の向上に努めております。

当中間連結会計期間の室内外装品関連事業においては、ファブリック製品の生地拡充や、操作性の向上など、顧客のニーズに沿った製品の開発を行ってまいりました。また、住設メーカーの展示場が集積し、利便性に優れた立地に新宿ショールームを開設し、実際に触れながら比較できる体験型の展示を充実させるなど、来館者に最適な提案が行える体制を構築し、幅広い購買層への需要喚起を行ったほか、営業機能の効率化および顧客へのサービスの向上を目的に、4月に中国、四国地方の支店を統合し、新たに中四国支店として営業を開始すると共に、同支店内に広島ショールームを新設いたしました。

駐車場装置関連事業においては、くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案の推進による受注の獲得と、原価の先行管理を徹底することで、収益の獲得に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客仕様にに基づく個別製品の拡販やサーボモータを中心とした新規需要開拓に注力するとともに、原価高騰が継続する中で、販売価格の改定により収益獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は22,095百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は2,544百万円（前年同期比21.5%増）、経常利益は2,682百万円（前年同期比22.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,775百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

「安心・安全・健康・環境」をキーワードに、多様化するニーズを的確に捉えた製品開発に努めるとともに、新たな需要喚起による市場開拓、新製品の早期市場浸透を進めてまいりました。

当中間連結会計期間においては、調光タテ型ブラインド「エアレ」、調光ロールスクリーン「ルミエ」、プリーツスクリーン「フィュー・ペルレ」などニーズが拡大している製品を中心に生地ラインナップを拡充いたしました。

電動製品ホームタコスにおいては、更なる利便性向上のため、充電式のバッテリーを搭載した「バッテリー仕様」、スマートフォンの専用アプリによって開閉操作が可能となる「スマホ操作」の対象製品を拡大いたしました。

また、販促活動においては「タチカワブラインド新製品発表会2026」を開催し、“感じる。確かな品質と快適さ”をテーマに「見て・聞いて・触れて・感じる」体験型展示を通じて新製品を訴求したほか、本年度は日本最大級のオフィス家具見本市である「オルガテック東京2026」に初出展し、新たな市場の開拓を行ってまいりました。

以上の結果、売上高は18,110百万円（前年同期比1.3%増）となり、営業利益につきましては、売上高の増加や価格改定効果もあり、2,000百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

主力製品である「パズルタワー」の新設工事物件の一部で工期の前倒しが発生したことや、既設物件の改造改修工事が増加したことにより、売上高は2,148百万円(前年同期比68.3%増)となりました。営業利益につきましては、売上高が増加したことにより、396百万円(前年同期比141.8%増)となりました。

[減速機関連事業]

工作機械需要が緩やかな回復基調となる中、需要が高まっているAGV(無人搬送台車)用の個別製品の売上が好調に推移したことにより、売上高は1,835百万円(前年同期比13.9%増)となりました。営業利益につきましては、利益率の高い個別製品の売上構成比が増加したことや、前年下期に実施した汎用減速機の価格改定効果により、148百万円(前年同期比203.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は68,118百万円で、前連結会計年度末と比較し383百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は39,951百万円で、前連結会計年度末と比較し1,277百万円の減少となりました。これは主に、棚卸資産が増加した一方で、現金及び預金や受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。

固定資産は28,167百万円で、前連結会計年度末と比較し1,660百万円の増加となりました。これは主に、株価上昇に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

負債は10,436百万円で、前連結会計年度末と比較し945百万円の減少となりました。これは主に、電子記録債務や未払金が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は57,681百万円で、前連結会計年度末と比較し1,328百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は84.7%と、前連結会計年度末と比較し、1.5ポイントの増加となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、2,413百万円減少し、12,700百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、2,154百万円の増加(前年同期は2,016百万円の増加)となりました。

これは税金等調整前中間純利益2,681百万円に対し、減価償却費566百万円、売上債権の減少額1,219百万円等による増加があった一方で、棚卸資産の増加額409百万円、未払金の減少額242百万円、法人税等の支払額900百万円等による減少があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、3,549百万円の減少(前年同期は217百万円の増加)となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出1,400百万円、有形固定資産の取得による支出1,054百万円等があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、1,038百万円の減少(前年同期は669百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払1,001百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中東情勢の混乱及び長期化の懸念に伴い、物価の高騰や一部原材料の供給不安など、当社グループを取り巻く事業環境の不確実性が増しております。2026年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において2026年2月10日に公表しました予想に変更はありませんが、今後、状況の変化により、連結業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,675,363	16,661,522
受取手形、売掛金及び契約資産	7,603,640	6,502,800
電子記録債権	7,972,777	7,844,148
有価証券	-	501,133
商品及び製品	883,809	841,413
仕掛品	1,592,248	1,638,377
未成工事支出金	47,430	118,575
原材料及び貯蔵品	5,102,576	5,445,576
その他	436,000	485,116
貸倒引当金	△85,413	△87,321
流動資産合計	41,228,434	39,951,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,919,396	17,272,651
減価償却累計額	△10,909,868	△11,097,953
建物及び構築物(純額)	6,009,527	6,174,697
土地	8,174,878	8,174,878
その他	18,951,327	19,530,621
減価償却累計額	△15,617,407	△15,837,182
その他(純額)	3,333,919	3,693,439
有形固定資産合計	17,518,326	18,043,016
無形固定資産	454,004	707,009
投資その他の資産		
投資有価証券	5,454,960	6,742,168
退職給付に係る資産	1,325,638	1,316,448
その他	1,757,701	1,361,744
貸倒引当金	△3,704	△2,984
投資その他の資産合計	8,534,595	9,417,377
固定資産合計	26,506,926	28,167,403
資産合計	67,735,360	68,118,745

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,879,798	1,811,185
電子記録債務	2,077,994	1,576,720
未払金	1,524,603	1,182,916
未払法人税等	983,987	852,802
賞与引当金	252,502	280,620
役員賞与引当金	66,730	33,595
製品保証引当金	16,341	15,180
その他	1,867,800	1,678,865
流動負債合計	8,669,757	7,431,885
固定負債		
役員退職慰労引当金	153,947	142,146
退職給付に係る負債	2,263,704	2,313,530
その他	294,943	549,261
固定負債合計	2,712,595	3,004,938
負債合計	11,382,353	10,436,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	7,633,412	7,633,412
利益剰余金	42,312,395	43,082,409
自己株式	△567,580	△568,049
株主資本合計	53,853,227	54,622,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,755,613	2,303,332
繰延ヘッジ損益	-	929
為替換算調整勘定	121,458	141,889
退職給付に係る調整累計額	622,708	612,996
その他の包括利益累計額合計	2,499,779	3,059,148
純資産合計	56,353,007	57,681,921
負債純資産合計	67,735,360	68,118,745

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	20,771,891	22,095,109
売上原価	12,034,982	12,995,786
売上総利益	8,736,908	9,099,322
販売費及び一般管理費	6,642,779	6,554,356
営業利益	2,094,129	2,544,965
営業外収益		
受取利息	9,113	26,843
受取配当金	56,616	75,890
不動産賃貸料	19,007	17,767
為替差益	-	3,098
その他	22,800	20,787
営業外収益合計	107,538	144,386
営業外費用		
支払利息	431	569
不動産賃貸原価	4,433	3,567
為替差損	7,890	-
その他	1,617	2,521
営業外費用合計	14,372	6,658
経常利益	2,187,295	2,682,693
特別利益		
固定資産売却益	166,218	436
投資有価証券売却益	369,320	-
特別利益合計	535,539	436
特別損失		
固定資産除売却損	14,536	1,220
ゴルフ会員権退会損	4,800	-
減損損失	329,738	-
特別損失合計	349,074	1,220
税金等調整前中間純利益	2,373,759	2,681,909
法人税、住民税及び事業税	666,002	769,129
法人税等調整額	△26,927	137,708
法人税等合計	639,074	906,838
中間純利益	1,734,685	1,775,071
親会社株主に帰属する中間純利益	1,734,685	1,775,071

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	1,734,685	1,775,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,211	547,719
繰延ヘッジ損益	-	929
為替換算調整勘定	△24,267	20,431
退職給付に係る調整額	13,666	△9,711
その他の包括利益合計	△87,813	559,368
中間包括利益	1,646,871	2,334,440
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,646,871	2,334,440

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,373,759	2,681,909
減価償却費	572,458	566,246
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,350	28,117
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,071	△33,134
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△4,982	△12,589
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	66,317	57,450
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△331,588	△11,800
製品保証引当金の増減額(△は減少)	276	△1,161
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,445	△3,689
固定資産除売却損益(△は益)	△151,681	783
減損損失	329,738	-
ゴルフ会員権退会損	4,800	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△369,320	-
受取利息及び受取配当金	△65,730	△102,733
支払利息	431	569
為替差損益(△は益)	8,883	△8,608
売上債権の増減額(△は増加)	1,397,710	1,219,990
棚卸資産の増減額(△は増加)	△749,353	△409,711
仕入債務の増減額(△は減少)	△146,544	△209,200
未払金の増減額(△は減少)	△346,219	△242,612
その他	242,715	△563,716
小計	2,824,503	2,956,110
利息及び配当金の受取額	65,982	99,675
利息の支払額	△379	△880
法人税等の支払額	△873,382	△900,673
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,016,723	2,154,231
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△372,105	△1,054,868
有形固定資産の売却による収入	185,000	436
無形固定資産の取得による支出	△94,478	△297,860
投資有価証券の取得による支出	△294	△995,683
投資有価証券の売却による収入	516,808	-
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△17,485	198,719
定期預金の純増減額(△は増加)	△3	△1,400,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	217,441	△3,549,280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△27,816	△35,608
配当金の支払額	△641,702	△1,001,924
その他	△311	△468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△669,831	△1,038,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,092	19,185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,543,242	△2,413,864
現金及び現金同等物の期首残高	14,977,295	15,114,750
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,520,537	12,700,885

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,883,762	1,276,534	1,611,594	20,771,891	—	20,771,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	20,867	20,867	△20,867	—
計	17,883,762	1,276,534	1,632,461	20,792,758	△20,867	20,771,891
セグメント利益	1,881,307	163,912	48,910	2,094,129	—	2,094,129

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「室内外装品関連事業」セグメントにおいて、今後の使用見込みが無いと判断した遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては329百万円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	18,110,889	2,148,496	1,835,723	22,095,109	—	22,095,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	53,949	53,949	△53,949	—
計	18,110,889	2,148,496	1,889,672	22,149,058	△53,949	22,095,109
セグメント利益	2,000,173	396,363	148,429	2,544,965	—	2,544,965

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。